

サクラと貿易統計とわたし・・・

JSC 貿易部ニュース 中国編



いつもお世話になります。当メルマガに目を通していただいております。

今年も4月をまたぎ、新しい年度が始まったわけであります。みなさま、桜のお花見には行きましたでしょうか？

テレビで、「今年の花見インバウンドは100万人規模！」というニュースに触れたわたしは、人混みに恐れをなして桜の名所にはあえて足を運ばず、近所の公園で花見を済ませた次第です。桜を見ると、春の到来を感じられて、心もゾワゾワする感じがいいですね！

わたくし事ですが、この4月で無事入社17年目を迎えることができました。これもひとえにお客様と仕入先様のご愛顧があつてのこととさせていただきます。普段は直接お目にかかる機会も少ないかと思いますが、改めて感謝の意をお伝えしたい次第であります。誠にありがとうございます。

さて、年度初めということで、中国貿易に従事した17年間でデータを振り返ってみようと、ふと思い立ったのでございます。ご存知の方も多くいらっしゃると思いますが、財務省の

貿易統計ホームページから、輸出入のデータを閲覧することができます。

(<http://www.customs.go.jp/toukei/srch/index.htm>)

【品別国別表】をクリックして、品目コードや国コードなどを入力すると、すぐにデータが取得可能です。

2001年度から最新データの反映されている2018年度までの中国からの石材輸入量と価格の推移をグラフにしてみました。元データでは、輸入トン数と輸入金額が表示されますが、そこからすこし加工をして我々に馴染みのある才数（切数）と才当たりの単価に変換してみました。



年度	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
才数	13778088	14444375	14215500	14082350	14565063	14130538	12982375	11006188	10090300	9764038	9526138	8980125	9167425	7221688	6278563	5857950	5497863	4563625
単価/才	¥5,473	¥5,319	¥5,033	¥4,950	¥5,309	¥5,640	¥6,043	¥6,258	¥5,955	¥5,816	¥6,139	¥7,130	¥9,074	¥9,678	¥10,493	¥9,025	¥9,241	¥9,940

一見して目を引くのが、石材輸入量の急激な減少です。おそらく2002年～2005年頃が中国からの輸入の最盛期だと思いますが、年間1500万才くらいあったのが、直近では500万才近くまで減っています。ざっと三分の一です。それでも500万才という数字が大きすぎて想像つかないですが・・・。逆に才当たりの単価は、2012年を境に急激な上昇傾向を示しており、2004年と2018年を比べると倍くらいの開きが出てきています。

上記のデータには墓石関連の石材だけでなく建築石材も含まれておりますので、輸入量の減少に関しても、一概に「墓ばなれ」だけが主因ではないのだろうとは推測するところではあります。昨今中国の石材工場について見聞きする、「日本市場から欧米・中国国内向けへの転業」に関しては、ある意味納得できるデータかと思われます。

単価の上昇に関しても、様々な要因を含んでいるのだと思いますが、2012年あたりからの上昇傾向については“アモイの地価の推移”と比べると、ほぼ似たようなベクトルを示すグラフに

なっていますので、中国の経済発展（および人件費の上昇）が主な原因ではないかと推察されるところであります。

また、今後も折を見て調査を続けてみたいと思います。

さて、今月の石種紹介も「サクラ」です。

従来よく使われておりました、G663 ピンク細目などの定番石種が採掘停止の影響で値上がりしているのは、みなさまお聞き及びかと存じます。

先日の中国出張の際に工場から提案されたのが、その名も「桜花紅」という石種です。



まだ素性を調査中ですが、サンプル見る限りはツヤもよく、見込みありそうなピンクです。

こちらも引き続き調査を続けてまいりたいと思います。

今月は以上です。また来月のメルマガもご期待ください。

2019/05/01